

場の認定制度事例紹介

認定自治体：川崎市

川崎市役所

環境局 総務部 環境調整課 今井 千栄

本日の発表内容

- 川崎市の方針と調整経過
- 川崎市が認定している体験の機会の場
- これまでの取組
- 今後の取組



川崎市の方針と調整経過

方 針

川崎市環境局では、教育委員会や経済労働局等と連携しながら、本制度を積極的に活用し、これまで以上に子ども達等へ環境教育の体験の機会の場を提供するとともに、市内事業者による環境教育及び環境保全活動の支援、促進を図る。

川崎市の方針と調整経過

調整経過

CCかわさきエコ暮らし(低炭素・資源循環・自然共生)
の観点や地理的バランスを考慮しながら認定対象事業者(約20社)を抽出し、積極的なアプローチを実施

5つの体験の機会のある場を認定

川崎市が認定してる

体験の機会の場

- ① 昭和電工株式会社 川崎事業所 (川崎区)
- ② 株式会社ショウエイ (幸区)
- ③ 富士通株式会社 川崎工場 (中原区)
- ④ 明治大学 黒川農場 (麻生区)
- ⑤ 東京ガス株式会社
東京ガスキッチンランド川崎 (川崎区)

(平成27年6月現在)

川崎市内の体験の機会の場

<体験の機会の場マップ>



① 昭和電工株式会社

川崎事業所(川崎区)

＜事業内容＞

プラスチック製容器包装の分別体験、アンモニア等の化学実験、事業所見学等

＜主な対象者＞

小・中学生 50名程度

＜平成26年度実績＞

実施回数： 2回

参加人数： 21名



② 株式会社ショウエイ(幸区)

＜事業内容＞

水の大切さを考えるろ過実験、事業所見学等

＜主な対象者＞

小・中学生 40名程度

＜平成26年度実績＞

実施回数： 1回

参加人数： 43名



③ 富士通株式会社

川崎工場（中原区）

＜事業内容＞

3R学習（パソコンの分解体験）、事業所見学等

＜主な対象者＞

小・中学生 150名程度

＜平成26年度実績＞

実施回数： 1回

参加人数： 143名



④ 明治大学 黒川農場(麻生区)

＜事業内容＞

敷地を活用した自然農業体験

「アグリサイエンスアカデミー」

＜主な対象者＞

大学生以上 90名程度

＜平成26年度実績＞

実施回数： 4講座

参加人数： 78名



⑤ 東京ガス株式会社 東京ガスキッチンランド川崎（川崎区）

＜事業内容＞

環境に配慮した食の取組のための講座、
調理実習（エコ・クッキング）

＜主な対象者＞

講座によって異なる

＜平成26年度実績＞

実施回数： 16回

参加人数： 267名



これまでの取り組み（認定手続き）

認定手続きをサポート

- ガイドラインの整備

認定の手順やスケジュールを明確に
作成書類の記載例等を掲載

- 運用方法の工夫

事業所長や工場長でも申請可能

これまでの取組（認定後）

認定登録団体の情報発信

- **市内イベントでの広報**
国際環境技術展2013
エネルギー・環境子どもワークショップ
- **市立小・中学校（約170校）への情報提供**
全校への資料（チラシ）の配布（夏休み前など）
教員研修等での情報提供
- **自治体のウェブサイトでの紹介**

今後の取組

効果的な情報発信

- ・広報紙、広報コーナー、イベント等を活用



- ・各認定団体の対象者や規模に合った発信先

例えば…

- ・子どもが対象 → 環境講座(教室)受講者等
- ・大人が対象 → 市民アカデミー受講者等
- ・学校での授業で活用してほしい → 学校、教員等

ご清聴ありがとうございました。



KAWASAKI CITY